

平成22年度に建設工事で発生した事故事例（地下埋設物損傷事故）

事故概要：

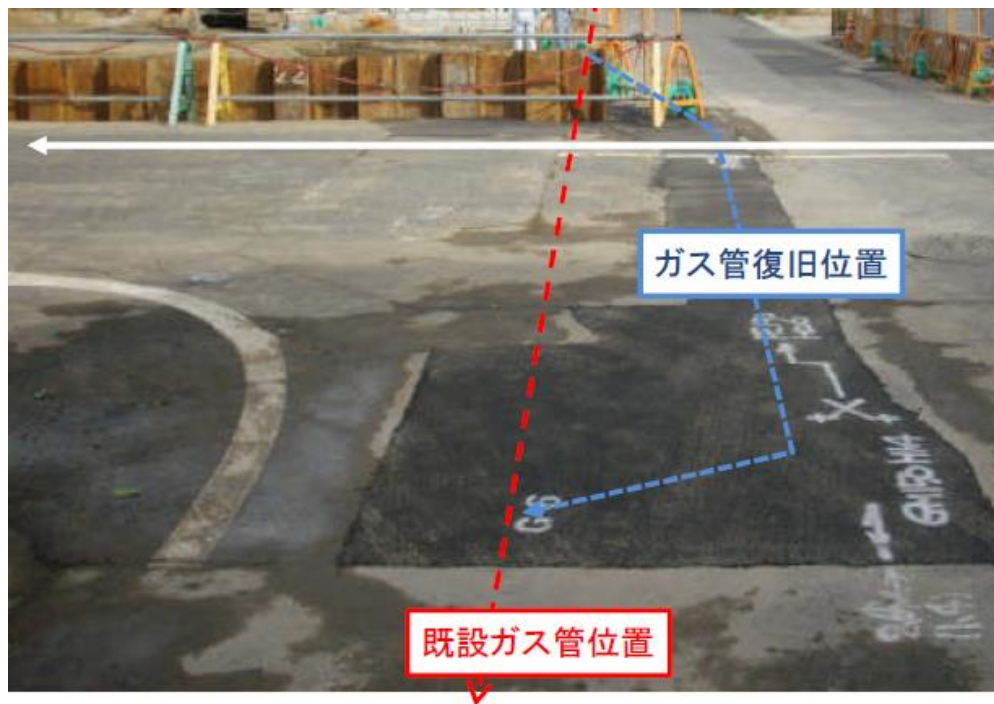
橋脚工事の仮設矢板設置時にガス管を破損させた。

事故原因：

- ・埋設管に関する資料提供を受けていたが、ガス管を見落としていた
- ・ガス管を事前に復旧を条件に撤去してもよいと言われていた農水管と思い込んでいた

改善対策：

- ・地下埋設物の確認方法について見直す
- ・事前調査と管理者との立会の徹底



分類：矢板工、設置

被害状況：民家21世帯他9時間半ガス供給不可

平成27年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

事故概要：

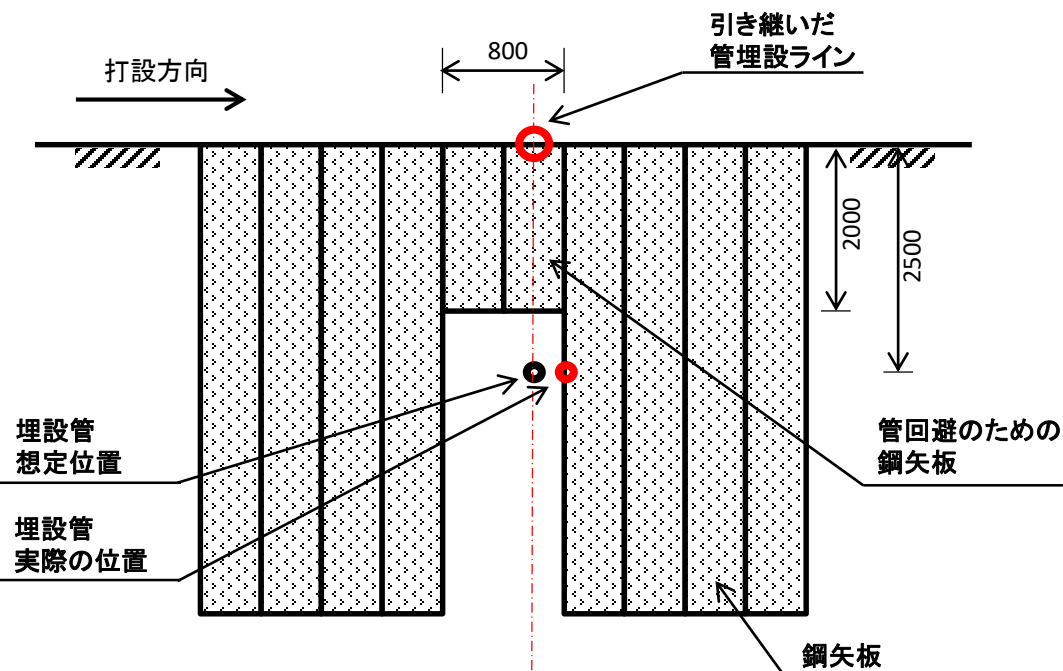
水路の移設のため別工事で下水道管を移設し、その敷設位置を基に水路移設のための仮設鋼矢板を施工したところ、実際の管の位置との相違があり下水道管を破損させた

事故原因：

- ・管の正確な位置の管理が不十分だった
- ・管施工時に位置の確認をせず、提供された位置情報をそのまま鵜呑みにした

改善対策：

- ・図面や座標管理により正確な位置管理の徹底
- ・施工時の立ち会い等位置の把握を徹底する



分類：矢板工、設置

被害状況：下水道管損傷、3軒影響するも使用不可能とはならず

平成30年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

【事故概要】

既設石綿管撤去作業時に掘削法面の崩壊を防止するための矢板を打設しながら施工していた際、撤去予定管の下側に埋設されていた農業用水管に矢板が接触し破損した。

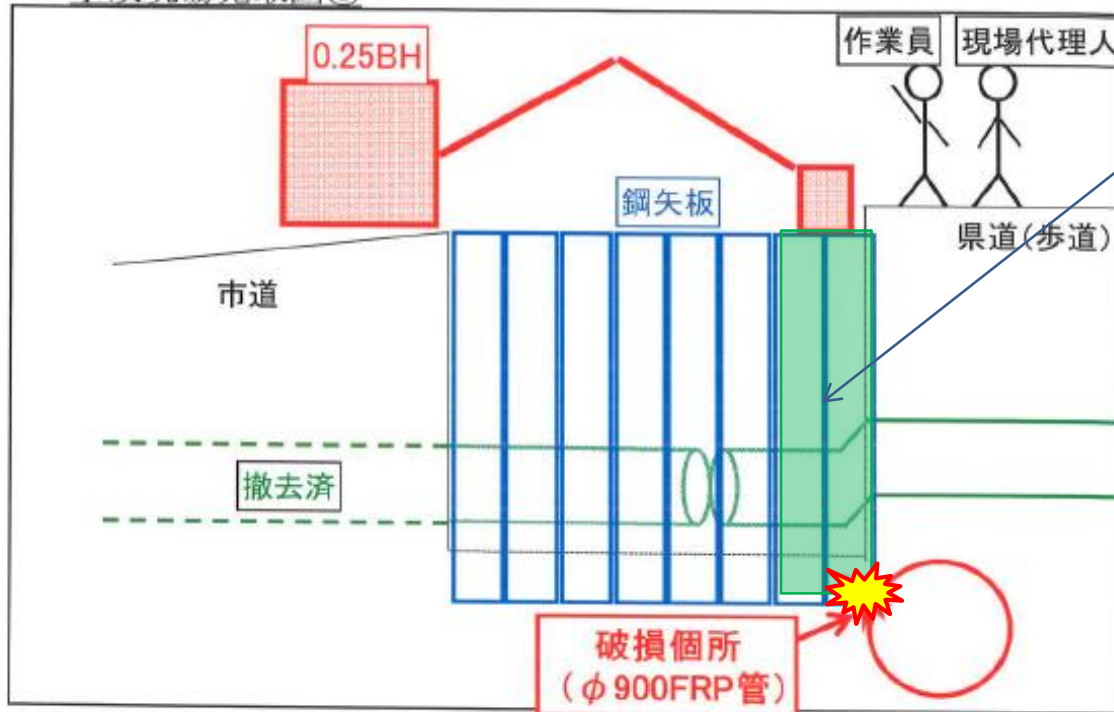
【事故原因】

- 撤去作業時の作業スペースを広く確保するため、設計以上に掘削延長を伸ばし矢板を打設した
- 仕様書に基づき現場にマーキングするなどの確認を怠った

【改善対策】

- スプレー等で現場に埋設物の位置を明示する
- 埋設物の存在が確かな場合は、朝礼時等に現場に携わる複数人で情報共有を行い、各々が安全を確認できるようにする
- 埋設物付近で作業を行う場合は、手作業による確認を行う

事故現場見取図①



破損した農業用水管
(FRPM管φ900mm)

作業スペースを広く確保するため、
矢板2枚分(L=約600mm)長く掘削



撤去予定の石綿管(φ450mm)

【分類】 矢板工、設置

【被害状況】 農業用水管(FRPM管φ900mm) 損傷（非取水期のため実害は無し）